

發行兼編輯人 川崎文治

印刷所 福島縣石城郡平町長橋町三五番地 本報印刷部

常磐新聞

定価 一部金貳圓 郵税五割 送料五割

廣告料 五割十二行 五十割一行

印刷所 福島縣石城郡平町長橋町三五番地 本報印刷部

電話 六三〇番

刊夕日二月九

定価 一部金貳圓 郵税五割 送料五割

廣告料 五割十二行 五十割一行

印刷所 福島縣石城郡平町長橋町三五番地 本報印刷部

電話 六三〇番

品質優良 米所

関内精米所

番〇六一話電出呼 町橋長町平

スマシタイ 遠紀速早ズラハ拘ニ少多ハ文注御

スマ願シ試御ハ度一非是

公周旋業

電話 七〇二三番

滑川敏之補

平町新田町

川粧化オ

驗石ニクカ

錢十個壹

ツルヤ

平町四丁目

電話百四十

大谷時計店

洋傘 夏帽子

平町三丁目 電話一九番

喜多林之助

平町月見町

柏傳の 全刺子ト染物

祖屋染物店

看護婦派出所

の求めに應ず

平町南町

看護婦會

電話三〇七番

小僧さん入用 (有聲座隣) 喰へてたいしい

常磐毎日新聞

孟蘭盆會の句

滿壽莊

(一)

佛壇を子供の覗く魂祭
素枝
魂棚や手の届く子の嬉し
多代女
が
佛壇を覗く子供は親なつか
こと思へばか又は此奥に何
かあるかと思議がるのか
魂棚に手の届くとてうれし
がる子を見ては其無邪氣さ
に泣かざる人もあるべし
聖靈に取られて了ふ寢床
かな 一茶

例の一茶の滑稽的悲哀狭い
一間の寢處も魂棚を飾りた

れば床ものべられず蚊帳も
釣られぬを聖靈に寢處を取
られたとは一茶ならでは云
へ得ぬ壇場

棚經や聲の高きは弟子坊
主 其角
其おもむき見ゆる様である
棚經を手前で讀んで置に
けれ 一茶

無さうさも前まで行けば徹
底的である
夕風や盆提灯も糊ばなれ
骸骨の贅を前書してあるだ
けに物凄句である
芭蕉
高燈籠暫くあつて案の月
比 枝

解する迄もなく盆の夕景
つくつくと雨見上るや高

燈籠 曉臺
高燈籠を釣らうと灯まで入
れては見たが此雨ではどつ
くくと竿から空を見上げ
たる恨めしげな顔つきよ
高燈籠滅なんとするあま
たつ 蕪村
其まゝの景色ながら何とな
く趣きあるけしき
折ふしは急いで廻る灯籠
かな 雁宕

灯籠の特性を見付けたら併
句ならでは云ひ得ぬ場合
燈籠や木がかぶさりて又
見ゆる 一茶
是も亦俳句でなくては云ひ
得ぬ境地木の間に見えたり
隠れたりする有様

(つづく)

お盆特別短期大公開

時代劇(大江戸捕縄記)
た富與三(小坂作品)
▲蝙蝠安 卷全
嵐崎徳松枝鶴子主演

代表畫(淪落の女)
▲黒百合の花 卷全
珠玉名篇!!!「あこがれの都」
そは五月信子の.....
歸らぬ女
▲あこがれの都 卷全
松本泰輔・歌川八重子主演

九月二日より三日間

帝マネキ 國座 有聲座

高橋榮子

平町白銀町

課目

暫く東京で學びました右の数々の
結果を郷里の皆々様方にお傳へ致
す事が出来れば結構と存じまして
九月一日から毎日お望みの方々に
自宅迄お集ひを願ひ御研究のお相
手を致して居りますからごなたも
御遠慮なくお遊び旁々お出で下さる様お待ち申上げます

婦人和洋服、子供服、袋物、タツ
チング、刺繡ピース、佛蘭西リボ
ン、婦人並に小兒帽子、

産婆開業

平町田町(電話三三三番)

片寄産婆方

東京帝國醫科大學産婆復習科
卒業 鈴木ミエ

◎妊婦産婦御預り致し
ます◎御困りの方には
無料でお扱ひ致します

赤心堂病院

平町町電話四七五番

内科・外科・花柳病科
耳鼻咽喉科・婦人科

高久病院

平町町電話五一三番

内科・外科・耳鼻
咽喉科・花柳病科

松村病院

平町町電話一〇七番

内科・胃腸科・婦人科
十二指腸虫病科
花柳病科・X光線科

電話開設御披露

今般電話架設開通仕候間是非御利用の
上倍舊の御愛顧御引立の程奉懇願候

番號	町名	氏名
六四二	一目	大平屋藥舖
六四六	見月町	米穀商醬油味噌醸造元 根本品藏商店
六六一	二丁目	常陸セメント海岸線特約店 酒井喜七 (住吉屋分店)

今日から賑はふ 火の海・踊りの波

陰曆十四日から平町を賑はす舊盆三日間の行事二ツを六千の町家が日暮を待つて一齊に焚く篝火と苦學の末東都芝増上寺の

住職ご なたつ同郡

大浦村出の祐天上人が宗教心に乏しい郷土の爲めに授けたものと傳へられるチャングラ念佛であつて愈々今二日の夜から其名物が繰ひろげられる此相並ぶ行事二ツの

次第を 上げれば

は夕色漸く深からんとする時國道の南端長橋町から點火されて順次北に及び懸て全街が火に埋まる奇觀は眞に初見の眼を驚かすばかり天をも焦すこの炎々たる

迎火が 約二時間で

全部を消されて間もなく鉦や太鼓で練込むのが近在の若い衆で仕組まれた謂所チヤングラ念佛團で其年の新しい佛を弔ふ入盆の軒に一卷の

舞踊を 終へて過ぐ

ればまた一團次からつぎに數へ切れぬ各團が舞うては過ぎ踊りては移る其中には老若男女を問はぬ盆踊の一隊が此處に彼處に輪をなして

地方色 タツプリの

唄と踊りで極度に狂ふ殊に

部長の推薦をも行ふ
渡邊マラソン 石城
郡渡邊村青年團主催の同村から茨城縣多賀郡高萩驛に至る往復廿里間の長距離マラソンは明三日午前六時同村小學校よりスタートをきり由にて参加申込者十八名ある由

本社が建設した 量目調への衡り臺

平警察署前に設置 一般人の御利用を待つ

既報平町度量衡器商の協賛を得て本社が平警察署前に建設すべく計画中であつた量目調への屋臺造りは此程全く出来し既に平署前に設置して『ごなたも御自由に品物の目方をお試めし下さい』との宣傳板と共に卓上の使用を待つて居る、若し目方に依る買物等を爲し果して定量なるや否やを試さんとする場合の如きは是非右の衡りに依つて検められ

宵越しの金に さびがつく

今では青い顔
石城郡江名濱は本年五月頃から七月迄近年稀れな鯉の大漁であつた爲め漁夫等の喜び一方ならず『宵越しの金にはさびがつく』とて氣前よく連日連夜酒びたりになつて居たが八月に至つては殆んど鯉が影も見せない

桐谷氏退職 元の警中校長

警城中學校長として在任八ヶ年間に及び本縣社會課長に轉任の際は猛烈な留任運



中毒には中・毒物の黒やきの

中毒を起した場合には中毒を起した物を黒やきにして例へば梅ならば梅、魚ならば

社告

舊盆祭りの爲め明日及び明後日は工場員ご配達係の慰安として臨時休刊します
但し突發事件は直ちに號外を以つて詳報致します
常警毎日新聞社

患者十八名 澤渡學校閉鎖

石城郡澤渡村大字下市萱部落に腸チブス蔓延し患者數十八名を算するに至つた爲め同村小學校は本日より向ふ一週間閉鎖するの止むなきに至つた

九曜入山試合 平町

九曜庭球クラブは明三日午後三時より役場西隣のコートにて入山クラブと試合を爲す筈

自動車の訓示 平警

警察にては本日午後一時から同署樓上に自動車營業者を集め樫村署長より種々訓示があつたと

炭礦方面の 野菜が高騰

石城郡内郷村岩城炭礦及び湯本町入山炭礦に於て需要する野菜は主として平窪、飯野、夏井、神谷方面から

國調打合會

平町外平窪好間兩村國勢調査委員打合會は来る七日午前十時より郡會議室にて行はれる

御眞影奉遷

昨日の警女校
平町縣立高等女學校同窓會にては兼ねて記念事業とし

同校庭に御眞影奉安庫を建築中であつたが今回竣工したので一日午前十時から御眞影奉遷式を舉行したが参加者同窓會員其他有志にて盛大を極めた

鹿島青年總會

郡鹿島村青年團にては二日午前八時から小學校にて青年總會を催したと

青年競技打

石城郡聯合青年團主催体育大會競技委員打合會は本日午後一時より警中にて開かれ郡より大越視學、上野書記並に警中運道係員、平第

平町人事

出生
△新川町三三 柳井文治氏三女
△四軒町一四 愛澤清重氏二女
△堤ノ内一七 竹島清次郎氏四男
△仲間町二七 小柳竹治氏長女
△才地小路一〇 齊藤茂治郎氏二女
△月見町一三 根本品藏氏三女
△石城郡小名濱町 稅務署員高橋義
△田町一八 柏原辨一氏二女

耳の鬼

六代の親子が壯健に生活して居る一家が上海東上路に發見されたその一家の主人は陳と云つて九十六歳で七十と七十六の娘がある、五十歳になる孫が二十八と三十九の二人の息子を持つて居りその中一人が二十歳の息子をもち昨年結婚して最近子供を設けた、斯くて陳の一家には六代の親子が生活してゐると

死亡

△鎌田町四九 藤田庄一(七四)
△南町五八 片岡喜亮(一一)